

# 平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ICT学習空間整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	01	04	03
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課		指導課		
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長		濱崎 祐子		

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒	意図	児童の情報活用能力の育成を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校にコンピュータやインターネットを整備し、学習等で活用できるようにする。</li> <li>社会の変化に対応した学校教育を推進する。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	ICT教育の整備が充分なされていない状況であった小学校について、リース契約の更新時期において整備を進めている。また教育界の現状を踏まえ、タブレット端末の導入をした。本事業により、市内23校で最新のコンピュータを賃貸借契約を結ぶことができている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 市内児童用コンピュータ数	684	684	752	台	↑↑↑	
	② 市内生徒用コンピュータ数	344	344	376	台	↑↑↑	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	タブレット端末が特別支援学級に配備され、視覚的等の支援をすることで、学習効果の向上が得られている。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・平成21年度ICT整備の文部科学省整備目標は児童生徒3.6人に1台であるが、現状は小学校では13.5人に1台、中学校では11.4人に1台である。国の指針に基づき整備をいっそう進めなければならない。	
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		52,572,240	52,555,440	56,342,790			
事業費(b)(円)		52,572,240	52,555,440	56,342,790			
うち一般財源		52,572,240	52,555,440	56,342,790			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	平成21年度ICT整備の文部科学省整備目標に向けて整備を進める。	③取り組みの課題	文部科学省整備目標に向けてさらに整備を進める。
②今年度(H26)に実施した取り組み	26年度の各小中のパソコン賃貸借契約の内容を検討し、確定した。	④今後の改善計画	各学校にタブレット型端末機器を配備し、情報活用能力の向上を図るため、より多くの児童生徒が活用できるようにする。